

令和5年度 茨城歯科専門学校 学校評価

公益社団法人茨城県歯科医師会立 茨城歯科専門学校
自己評価委員会 委員長 大字 崇弘
学校関係者評価委員会 委員長 横須賀 義章

公益社団法人茨城県歯科医師会立 茨城歯科専門学校 自己評価委員会ならびに関係者評価委員会は、令和5年度の学校評価を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

(令和6年6月17日)

1. 自己評価委員 (学内)

役職名	氏 名	備 考
委員長	大字 崇弘	茨城歯科専門学校 校長 (公社) 茨城県歯科医師会 副会長
副委員長	小澤 永久	茨城歯科専門学校 副校長 (公社) 茨城県歯科医師会 理事
〃	渡辺 進	茨城歯科専門学校 教務部長 (公社) 茨城県歯科医師会 専務理事
委員	高根 正敏	歯科衛生士科 教務副部長
〃	野口 知彦	歯科技工士科 教務副部長
〃	菱沼 清美	歯科衛生士科 教務主任
〃	小田倉 直也	歯科技工士科 教務主任
〃	山田 肇	元学務課 課長

2. 学校関係者評価委員（学外）

役職名	氏 名	備 考
委 員 長	横須賀 義 章	茨城歯科専門学校 進路アドバイザー
委 員	田 澤 重 伸	（一社）水戸市歯科医師会 会長
〃	瀬 谷 公 子	（公社）茨城県歯科技工士会 会長
〃	岩 村 昌 子	（公社）茨城県歯科衛生士会 会長
〃	小河原 智 美	歯科衛生士科同窓会 真珠会 会長
〃	高 橋 さゆり	歯科技工士科同窓会 みわ会 副会長

3. 学校の教育目的と方針

歯科医療人として患者さん一人ひとりの健康と社会福祉に貢献できる技能・技術を身につけるとともに、高い人格と徳性の豊かさを備えた歯科衛生士・歯科技工士を養成することを目的としています。

歯科衛生士科・歯科技工士科共に、基礎・基本の学習と専門的教育を徹底し、国家資格と臨床に対応できる技能を取得することを第一の目標とし、見学実習や学会に参加・発表することにより医療人としての自覚と自らが学ぶ力を培い、臨床の場での応用力やチーム医療の中でのコミュニケーション能力を発揮できる歯科衛生士・歯科技工士の育成を目指しています。

(1) 入学者の受け入れ方針(アドミッションポリシー)

歯科衛生士・歯科技工士の専門職を目指そうとする、以下のような資質を備えた人を求めています。

【歯科衛生士科】

- 1) 歯科衛生士になりたいという強い意志を持つ人
- 2) 歯科衛生学の修得に必要な基礎学力を有する人
- 3) 協調性と思いやりを持って行動できる人

【歯科技工士科】

- 1) 歯科技工士になりたいという強い意志を持つ人
- 2) 歯科技工学の修得に必要な基礎学力を有する人
- 3) 向上心が高く、日々努力を重ねられる人

(2) 卒業認定・称号授与方針(ディプロマポリシー)

本校所定の単位を取得し、以下の能力を身につけた者を卒業認定し、専門士(医療専門課程)の称号を授与します。

【歯科衛生士科】

- 1) 高い倫理観を持ち、歯科衛生学の基本的な知識と技術を身につけ専門職としての責務を果たすことができる。
- 2) 科学的根拠を持って歯科保健活動を行うとともに、多職種とのコミュニケーションのもと地域の保健・医療・福祉に貢献することができる。
- 3) 生涯を通じて自己研鑽し資質向上を目指すことができる。

【歯科技工士科】

- 1) 歯科技工士になるための基礎的な知識と技術を身につけている。
- 2) チーム医療の一員として活躍できるコミュニケーション能力を身につけている。
- 3) 医療人としての心構えと倫理観を身につけている。

4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ◎ 学生指導を充実させ、退学者の低減と国家試験合格 100%を目指すとともに、優秀な人材確保に努める。
- ◎ シラバスを充実させる。特に実習シラバスを精査し、より効率的な授業を行うことで即戦力となる人材を育成する。
- ◎ 教育課程の実施に支障が生じる事態に備え、対面による授業と共に遠隔授業を充実させ、学生の安全確保と効率的な授業を実施できる体制を整える。

【4段階評価基準】

(3.6～4.0) — 「良 い」, (3.0～3.5) — 「まあまあ良い」
 (2.0～2.9) — 「要注意」, (1.9 以下) — 「改善必要」

5. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	◎自らが学ぶ力を培い、臨床の場での応用力やコミュニケーション能力を発揮できる人材の育成を目指している。令和4年度からアドミッションポリシーとディプロマポリシーを策定している。	4.0	1 歯科医療の高度化や他職種連携の社会的要請にこたえ得る力を育成する学校運営を目指す。
②	社会の動向を踏まえニーズに沿った教育を行っているか	3.9	◎歯科技工士科においては、外部講師を招き CAD/CAM等の先端技術や特殊な技能を有する実習を取り入れている。また、歯科衛生士科では、介護を必要とする高齢者や障害者に対応できる知識と技術を身につけるために、専門分野での障害者歯科学や高齢者歯科学の授業と共に、実際の介護技術を学ぶ実習（介護技術指導）を行っており、「介護職員初任者研修」の終了認定を受けることが出来る。	4.0	
③	学校の理念・教育目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.5	◎学校の教育理念・目標等は教職員間で共有しており、学生・保護者へは、学生便覧・学則を配布すると共に説明を行っている。また、ホームページ・募集要項に明記し、周知を図っている。	3.8	

(2) 学校運営

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8	◎本校は、公益社団法人茨城県歯科医師会を運営母体としており、「公益社団法人茨城県歯科医師会定款」、「茨城歯科専門学校学則」等に基づき設置運営している。	3.8	令和2年6月より公開。
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.9	◎教育大綱、学則並びに諸規則の制定・改廃についての事項は、「学校運営委員会」で協議される。予算・事業計画、決算・事業報告等の管理運営に関する事項と共に決議機関である「公益社団法人茨城県歯科医師会理事会」で審議決定される。	4.0	
③	組織体制について、運営組織や意思決定機能は、明確化されているか、有効に機能しているか	3.8	◎学科課程・授業計画・成績評価等の学生教育に関わる事項は、毎月行われる「教務打合会」で協議し、「講師会」で審議決定される。	3.8	
④	人事、給与に関する規程・コンプライアンス体制等は整備されているか	3.9	◎人事・給与に関しては、公益社団法人茨城県歯科医師会職員規程に定められている。	3.8	
⑤	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4.0	◎学校評価（自己評価・学校関係者評価）及び学校情報と教育活動については、ホームページ等を利用して随時公開している。	3.8	

(3) 教育活動

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	評価項目		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.8	◎カリキュラムは、養成所指定規則に基づいた授業時間数を十分に確保し、学生が実技教育を理解しやすいよう、講義を先行して知識を学び、その後、実習を通して理解を深められるように編成している。今年度、歯科衛生士科においては、授業の効率化を図るために教育計画とカリキュラムの見直し・整備を行った。（令和6年度4月より施行） ◎各授業科目の位置付けや進捗状況は、シラバスで適宜確認し、見直しを行っている。	3.8	1 外部評価・第三者評価表を整備する。 2 授業アンケート結果の利用法について検討が必要。
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.9		4.0	
③	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫-開発などが実施されているか	3.9	◎臨地実習講師会では実習指導施設からの意見を参考とすることで、それぞれの施設の特徴を生かした実習を体験させ、実践力と応用力の習得を図っている。	3.7	
④	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等、外部による評価が行われているか	3.8	◎臨地実習については、会員の歯科医院・歯科診療所にご協力いただいている。また、病院実習の充実と連携強化を図るため、新たに2病院を追加登録する予定である。 ◎外部実習の評価は、実習指導者が評価表を基に実習内容及び達成状況进行评估している。	3.7	
⑤	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.6	◎授業アンケートの実施によって、授業内容、学生の理解度の把握に努めている。	3.7	

⑥	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に示されているか	3.9	◎成績評価・単位認定、進級・卒業判定に関しては、学生便覧の配付と説明によって規程を知らせ、明確にしている。国家試験の不合格者がいる現状を踏まえ、単位認定・判定基準については、検討をしていく。	3.8	3 GPA等の客観的な指標の設定。 4 教務研修を充実させ指導力向上を図る。
⑦	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.5	◎専門的知識・技術を持った教員を非常勤講師として歯科大学及び介護施設等から派遣いただいている。	3.7	
⑧	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	3.6	◎教員の研修については、歯科診療施設での臨床研修の実施と各研修会への参加を援助、推奨している。	3.5	

(4) 学修成果

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者 評価点	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	明確な基準に基づいた実践能力 および学習能力を単位履修の認 定基準にしているか	3.9	◎講義科目・実習科目の試験は、60点以上を合格（単位修得）とし、その得点が評価となる。合格点に達しなかった者に対しては再試験を実施し、60点以上を合格（単位修得）とし、進級及び卒業とする。	3.7	1 両科とも国家試験 全員合格を目指す。 2 個別面談・保護者面 談等を十分に行い、 個に応じた指導を 徹底する。 3 指定校・公募推薦で 入学してきた学生 が退学した場合は、 高校に対して退学 理由等を報告する。
②	資格取得率の向上が図られているか	3.8	◎職業教育であるため、資格取得が前提である。令和4年度本校卒業生の歯科技工士国家試験合格率は100%、歯科衛生士国家試験科においても全国平均以上の結果であるが、今後も合格率の向上を図る。	3.7	
③	退学率の低減が図られているか	3.5	◎退学率の低減のために学業不振、欠席の多い学生に対しては担任による個別指導、保護者との緊密な連絡および学生と保護者を交えた面談の実施などを講じている。今年度の退学率は昨年度より、大幅に改善された。	3.3	
④	就職率の向上が図られているか	3.9	◎就職率については、学生数を十分に上回る求人が寄せられており、就職希望者は、100%就業している。	4.0	

⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4	◎国家試験が不合格であった卒業生に対しては、自習室の開放および国家試験対策授業に参加させ、資料の配付、模擬試験等を実施し、資格取得を支援している。 ◎卒業後の社会的な評価及びキャリア形成などの把握は、一部の卒業生に限られるが、社会的に活躍している卒業生には非常勤講師や特別講演の講師を依頼し、後輩の育成に協力いただいている。 ◎卒業後、卒業生が同級生だけでなく、先輩と後輩とが情報交換の場として同窓会（歯科衛生士科：真珠会、歯科技工士科：みわ会）を活用している。	3.5	4 茨城県歯科医師会では、結婚や子育て等で、ブランクのある歯科衛生士に対して、復職支援講習会（年 3 回）を開催し、再就職支援を行っている。
---	---------------------------------------	-----	--	-----	---

(5) 学生支援

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	◎就職に関する支援体制は、担任による進路相談や無料職業紹介事業の職業紹介業務運営に基づき、就職指導担当者が就職希望地域やキャリア形成のための助言を行うなど個々の状況に応じた支援を行っている。 ◎学生の就職意識を高めるため、ハローワーク就職支援ナビゲーターを招いての就職セミナーを7月に実施。また、事業所が一同に求人のプレゼンを行う就職ガイダンスを8月と3月の2回実施した。	4.0	従来からの日本学生支援機構や自治体の奨学金制度の案内を行うとともに、「高等教育の修学支援新制度」を周知する。
②	学生相談に関する体制は整備されているか	3.6	◎学生の相談に関しては、入学時または定期的に担任が学生に対し個別面談・ヒアリングを実施し、日常においても担任が窓口となり相談しやすい環境を提供している。	3.7	
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6	◎高等教育修学支援制度の対象校に認定され、専門実践教育訓練給付制度やその他の奨学金制度と共に新入生・在学生に周知することで、学費負担の軽減を図っている。 ◎学業、人物ともに優秀な学生に対し、勉学奨励を目的として、褒賞金を支給している。	3.8	

④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.6	◎学生の健康管理については、毎年健康診断と歯科検診の実施により、学生の健康状態の把握と疾病への迅速な対応を行っている。また、インフルエンザ予防接種に係る補助金を支給している。	3.8	
⑤	保護者と適切に連携しているか	3.6	◎保護者会の開催、「学校だより」の送付により、保者とのコミュニケーションを図るとともに、学校教育活動情報を伝えている。	3.8	
⑥	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3.4	◎高等学校での出前授業や、高校生の職業体験プログラムを実施している。	3.3	

(6) 教育環境

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるようになっているか	3.8	◎施設・設備・教具は、より良い教育環境の中で学習できるよう計画的に整備しているが、今後遠隔授業を効率的に取り入れていくために教具とネット環境の整備が必要である。	3.8	1 図書室の環境整備を行い、より活用し易くする。 2 施設整備について、安全点検を実施し、状況の把握に努める。
②	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.3	◎校外実習等に関する実施要項・マニュアル等を作成し、成績評価基準を明確にし、教育体制を整えている。	3.0	
③	防災、安全管理に対する体制は整備されているか	4.0	◎大規模災害や火災に備え、避難訓練を年1回実施。災害対策マニュアル、非常用備蓄品、緊急連絡網（教員・学生）を整備し、必要に応じて見直しを行っている。防火管理責任者も配備、消防施設点検も年2回行っている。	4.0	

(7) 学生の受入れ募集

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	学生募集活動は、適正に行われているか	3.9	◎学生募集活動は、養成所指定規則，養成所指導ガイドライン，学則，個人情報保護法の遵守ならびに文部科学省からの各種法令・通知を守り適切に行っている。 ◎高等学校訪問は，進路アドバイザーと教職員が中心に行っており，本校の入試説明会と共に高等学校の先生方と情報交換ができ，信頼関係も深められている。 ◎高等学校の進学相談会は，生徒と直接話すことが出来る機会なので積極的に参加している。 ◎入学者選抜について，指定校推薦入学試験，公募推薦入学試験，一般入学試験 3 回を合わせて 5 回の入学試験を実施した。 ◎オープンキャンパスや外部への広報の伝達については，パンフレットやホームページ，その他広報媒体を通じて行っているが，今後は，SNSやオンラインでの対応も含め最新の情報を正確にわかりやすく伝える工夫が必要である。 ◎オープンキャンパスは，昨年度より多い7回開催。来年度はナイトオープンキャンパスを実施予定である。また今年度は，パンフレット・募集要項を更新した。	4.0	高校訪問において，各奨学金制度の予約採用の案内を行い，学費負担の軽減をアドバイスする。

②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4	◎本校ホームページに国家試験の合格率及び就職状況を掲載している。	3.2	
③	学納金は妥当なものとなっているか	4.0	◎学納金に関してはできるだけ無駄を省き、徴収した入学金、授業料、実習費が学生個々へ効率的に還元できるよう常に努力しているが、教科書代、実習機材費、ワクチン接種料の値上げにより全体の負担は増加している。	4.0	

(8) 財務

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3.1	◎予算については、担当各部署が次年度に必要な物品等の要望を事務局に提出し、事務局が集約して担当役員の決裁を仰ぐ。担当役員は、内容を精査した上で、理事会に最終予算案を提出し、決議を経て次年度予算は執行するなどし、財政基盤の安定を図っている。	3.2	1 定員の充足を目指し、学校経営の安定化を図る。 2 日常的な経費節減を行い、各事業予算の適正化を検討する。
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.8	◎歯科技工士科、歯科衛生士科とも令和5年度の入学予定者数が定員数を下回る状況であり、学生募集活動の充実・退学者の低減・支出等の見直しを行い、さらなる財政基盤の安定化に努める必要がある。	3.7	
③	財務について会計監査が適正に行われているか	4.0	◎財務については、公益法人会計基準に則り、公認会計士の指導の下に適正な運用を行っている。定例監査は本会監査規程により年4回とし、毎年6月の定時代議員会において監査報告を行っている。	4.0	
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4.0	◎財務情報の公開については、公益認定法に基づき情報開示を行うこととし、本会ホームページに財務諸表等を掲載することで、常時閲覧が可能な体制を整えている。	4.0	

(9) 法令等の遵守

4段階評価（適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1）

No	評価項目	自己評価		学校関係者評価	改善点 特記事項
		評価点	現状と課題		
①	法令，専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	◎専修学校設置基準及び養成所指定規則，その他法令等を遵守し，適正に運営している。また，申請，届出についても所管先に遅滞なく行っている。	4.0	公開情報として保護者や一般への周知をする。
②	個人情報に関し，その保護のための対策がとられているか	4.0	◎全ての役員，教職員，講師が個人情報に関する法規範を遵守し，個人情報保護に関する基本理念を実践するために，公益社団法人茨城県歯科医師会として個人情報保護規程を定めている。 ◎学生については，入学時に「個人情報に関する誓約書」の提出を求めている。また，特に臨地実習を実施するにあたっては，事前に個人情報の取り扱いについて十分注意するよう指導している。	4.0	
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.6	◎自己評価については，専修学校における学校評価ガイドラインをベースに，自己点検・自己評価を実施し，ホームページでの公表を行っている。	3.5	
④	自己評価結果を公開しているか	4.0		4.0	